

指導の狙い

図表やグラフなどの資料を読み取った上で質問をしたり、計画的に話し合いを進めたりする。

課題の見られた問題の概要と結果

- B② 二 提示された資料を読み取った上で、相手に対して質問をしたい内容を明確にして発表するように記述する。
正答率：52.9 %
- 三 話し合いの目的を再確認し、計画的に話し合いを進めようとする司会の役割を適切に説明したものを選択する。
正答率：52.5 %

授業アイデア例

出題の趣旨を踏まえ単元化して指導する例

教材 ■平成24年度B②
■平成20年度国語A⑦「分かったことをメモに取る」
■平成21年度国語B②「表をもとに話し合う」
〔全5時間 対象：第5学年以上〕

単元を貫く
言語活動

B②では、資料を読み取った上で適切に質問をしたり、話し合いの流れに沿って司会をすることにつまずいているようですね。



教師

<主な学習活動>

〔指導上の留意点〕

資料を基にし内容を明確にししながら質問をする

第一次

1時間

- ① インタビューの経験を出し合い、質問をすることの目的を確認しながら、学習課題「資料を基にし、内容を明確にしなが質問をしよう」を設定し、学習計画を立てる。

- インタビューでの成功や失敗の経験を基にしながら、質問をすることの目的には、①疑問に思ったことを解決する、②聞き取った事実が誤りがないか確認する、③話の内容を広げたり深めたりする、④話し手の思いや願いを引き出す等があることを確認する。
- 資料は、数値が含まれた図表やグラフなどを取り上げるようにする。

第二次

3時間

- ② B②〔設問一〕を基にし、中学校の部活動についての質問を出し合ったり、それらを分類したりする。

- ③ B②〔設問二〕を基にし、資料「部活動に対する満足度」を読み取って分かる事実をカードに書き、観点に即して整理する。（参照：右ページ）

- ④ 理由や根拠となる事実を基にし、推論を働かせながら質問の内容や構成を考える。（参照：右ページ）

※ 平成20年度国語A⑦、平成21年度国語B②二の問題を用い、上記の2～4を繰り返し指導することもできる。

- B②の〔話し合いの様子〕の冒頭部に示された五つの質問を、①種類と人数、②曜日と時間の二つのまとまりに分けることができるようにする。その際、どの言葉に着目したかを説明することができるようにする。 …<関連：設問一>

- B②の資料「部活動に対する満足度」を読むときは、比べる相手や観点を明確にし、比べ方や違いを示す言葉について具体的に指導する。

- 質問の内容構成については、一文目に質問を、二文目以降に理由や根拠を記述することができるようにする。また、その逆に一文あるいは二文で理由や根拠を記述してから、三文目に質問を記述することができるようにする。 …<関連：設問二>

第三次

1時間

- ⑤ 各自考えた質問について、グループで評価し合う。その際、司会を立て、どのような推論を働かせたのかを説明し合う。

※ 特別活動などとの関連を図り、実際に中学生へ質問をする場を設定する。

- 司会による話し合いの進め方については、B②で発言している司会（白石）のそれぞれの意図を確認する。 …<関連：設問三>

- グラフの読み方の手順や推論を働かせた質問の仕方などを手引きにまとめ、今後の学習に活用できるようにする。

留意点

小学校学習指導要領解説国語編では、「A 話すこと・聞くこと」の言語活動例の〔第3学年及び第4学年〕において、「ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。」を設定している。また、〔第5学年及び第6学年〕においては、「ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。」を設定している。特に、資料を基にして話し合う場合、その資料の内容を的確に読み取った上で、自分の考えをまとめて発表したり、具体的な事実（数値など）を基に質問をしたりすることができるよう指導することが重要である。

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕A 話すこと・聞くこと

- ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。
- エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。
- オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

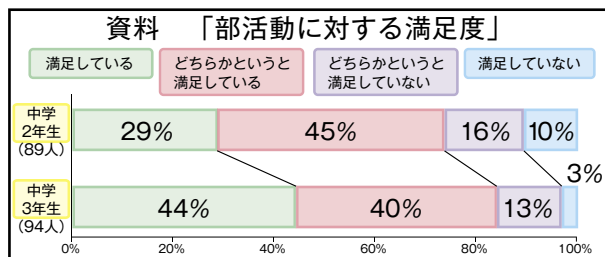
<学習指導要領の言語活動例との関連>

〔第3学年及び第4学年〕A 話すこと・聞くこと

- イ 学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。
- ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。

【第二次（3/5）の授業の様子】 資料「部活動に対する満足度」を読み取って分かる事実をカードに書き、観点に即して整理する。

【活動①：資料から分かる事実をカードに書く】 【グラフの読み方の手順】



- ステップ1** 表題、調査時期、調査対象などを確認する。
ステップ2 凡例（グラフ中の記号の意味を示したもの）を確認する。
ステップ3 縦軸と横軸とを関係付けながら、事実を読み取る。
ステップ4 比較したり統合したりして、全体を考察する。

<資料「部活動に対する満足度」(グラフ)を読む場合>

比べる相手や観点

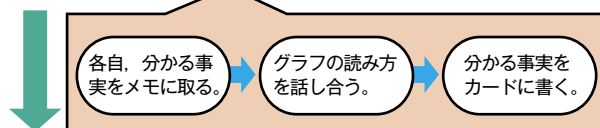
- 中学2年生と中学3年生について一つの観点で比べる
→ 「満足している」の場合で比べると、…
- 中学2年生と中学3年生について複数の観点を重ね合わせて比べる
→ 「満足している」と「どちらかという満足している」とを合わせてみると、…

比べ方

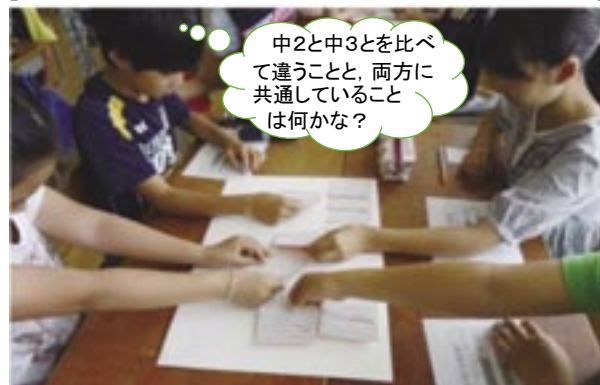
- 大小で順位をつける
- 足したり引いたりする
- 大きく二つのまとまりに分ける
- 一定の基準を設ける
(半数、～以上、～以下、～未満など)

違いを示す言葉の例

- 増えた・減った
- 多い・少ない
- 最も
- 変わらない



【活動②：書いたカードを観点に即して整理する】



【観点に即して整理した質問の内容（例）】

① 中学2年生と中学3年生とを比べて違うこと

- 「最も高い割合を見ると、中学2年生は「どちらかという満足している」ですが、中学3年生は「満足している」です。」
- 「満足していない」の割合は、中学2年生の10%に対して、中学3年生は3%で7%減っています。」

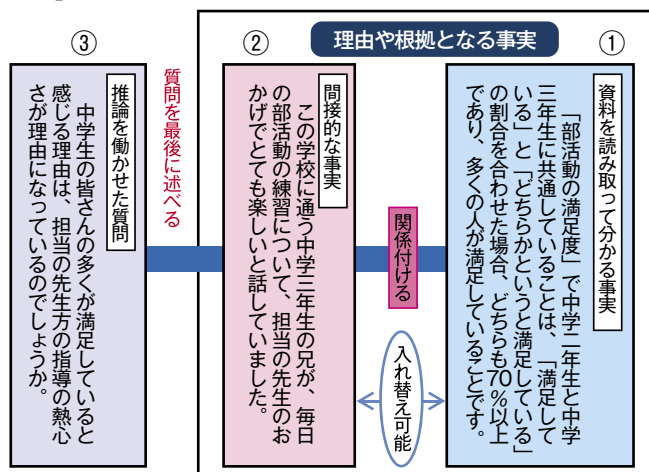
② 中学2年生と中学3年生の両方に共通していること

- 「中学2年生も中学3年生も、「満足していない」の割合が最も低くなっています。」
- 「満足している」と「どちらかという満足している」とを合わせてみると、中学2年生も中学3年生も70%以上です。」

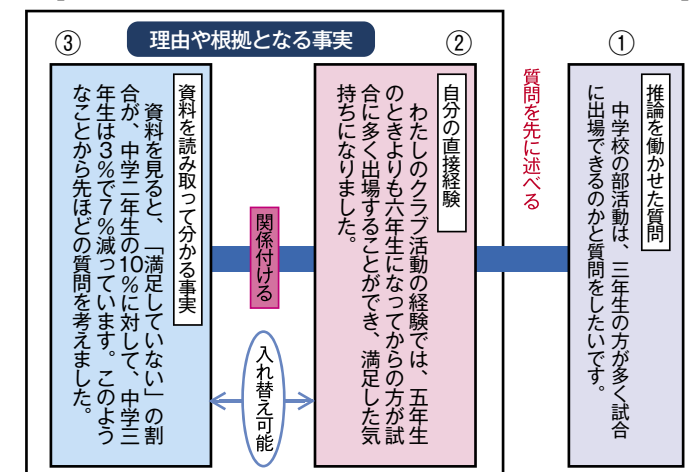


【第二次（4/5）の授業の様子】 理由や根拠となる事実を基にし、推論を働かせながら質問の内容や構成を考える。

A 【間接的な事実を理由や根拠の一部にした質問】



B 【自分の直接経験を理由や根拠の一部にした質問】



※①③までの内容を接続する言葉も工夫する。